

職場の

同窓生

高校第5回卒業

鏡 光 昭

昭和28年の卒業であるからいつの間にか、36年の月日が過ぎ去ったことになる。往時の美少年達もそろそろ初老の域を迎えて「疲れたなあ!!」を連発しているはずである。今、想えば児玉高校のあの時代が、実は「青春の真只中」であつたのかも知れない。

この稿を書きながら、あの顔の顔、なつかしく蘇って胸のときめきを覚えるのである。

高校時代は、僅か三ヶ年であるのに、さまざまな想いが脳裏にやきついて、妙に忘れ難いのは多感な年令期であるからであろうか。

私は、昨年の秋、たまたま児玉町を通ることがあり、時間にゆとりがあつたので久し振りに母校の側に立ってみた。すでに往時の校舍群はなく旧講堂のみが昔日の面影をとどめていた。

夕陽の中に映えるその講堂に、しばし、母校への感慨に耽つた。なぜか、その時、かつての本館の陽の当たらない、ひんやりとした廊下ですれ違った、或る級友のこ

とをフィルムの一コマのように想い出していた。私の甘酸っぱい児玉高校の想い出なのである。考えてみると、私の人間形成の基礎は、児玉高校の時代に育まれたものと思う。

それは、多くの秀れた師に巡り合え、多くの誇れる友人を持つことが出来たからである。

その後の私の人生の節々で様々なことに遭遇するが、共に喜び、互に励まし合える友人の多くは、この時期の友である。

私は幸せに思っていることがある。それは、私の職場(大東文化大学)に児玉高校卒業生が四人居ることである。

いつも一緒に居るわけでもないし、特別に語り合うこともないけれど、同窓生が同じ職場に居るということは、何んとも心強い限りである。

そこで、この機会に、その四人を紹介しておきたいと思う。

一人は、同期の坂本是進君(第5回)、評議員・教務部長として頑張っている。

あとの二人は女性で、木村好江さん(第18回)、上山麗子さん(第19回)、彼女達はいづれも勤続15年のベテラン職員として学生の指導に多忙な毎日である。

私達は、児玉高校の卒業生であるという学縁を何よりも大切にしたいと思つている。そのことが母校へのいささかの

恩返しでもあると思う。
!! 児玉高校に栄えあれ!!



最初の山岳部(昭和25年)

会名称募集

埼玉県立児玉高等学校同窓会の愛称(略称)を募集します。同窓会だけでは、同期会・クラス会等と混同する方が多くみられます。卒業生も一六、一一五名を数え、創立七十周年を迎えようとしている、児玉高校同窓会にふさわしい愛称を設定したいと思ひます。会報「時の針」も皆様にお願ひして親しみ深いものになりました。御応募は元年12月31日(メ切)

事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

参考(他の高校同窓会名称)

- ◎浦和 西高校 (西麗会)
- ◎熊谷女子高校 (桜会)
- ◎庄内農業高校 (瑞穂同窓会)
- ◎千葉 南高校 (松籟会)
- ◎八幡 南高校 (南陵会)
- ◎盛岡第二高校 (白梅会)



昭和63年度事業報告

- 4月17日 総会、於東京帝国劇場地下浜田屋(177名バス3台)観劇「おはん」154名・都内遊覧23名
- 10月1日 時の針(同窓会報)第4号の発行
- 11月11日 同窓会講演会、於母校講師 曾根伸穂氏(高校第11回卒業生)
- 11月20日 親睦旅行、於伊豆土肥温泉(38名)
- 2月4日 新年会、於本庄埼玉グランドホテル(173名)
- 3月8日 入会式、於母校 会長ほか役員出席
- 3月9日

七十周年を目前に

学校長 杉 田 治 正

私は、はからずも本校の校長を命ぜられて、初めて本校に参りました時に、北武蔵の雄大な環境、雄岡城跡を望む美しい自然にまず感嘆いたしました。人間を育てる教育の場所は、こういう環境でなくてはならないと思いました。そしてこのような高校で学ぶ生徒達は幸せだと思えました。

道のべに咲くやこの花

花にさえ、えにしなくして
わが逢うべしや

これは金田一京助の歌であります。道のべの名も知らない花にも縁（えにし）がなかったら逢うことはなかつたらう。この花との巡りあいも縁だということです。私もえにしがあつて、本校に勤務することになり、生徒諸君、教職員の皆さん、PTA後援会、同窓会の皆さんと巡りあつたわけでありますので、この「えにし」を大切に精一杯努力しようと思つて、県下でも屈指の歴史と伝統をもつ本校は平成四年に七十周年を迎えるわけであります。人間に例えれば古稀にあたり一つの節

目であります。「フシありて竹強し」竹には節がある。だから曲らず、折れず、真直ぐに成長する。前校長の岩田先生は、七十周年を前に「児玉高校ルネッサンス」を提唱しました。私も諸手を挙げて賛成です。それを私なりに集約して考えれば次の三つであると思つます。

- 生徒の進路志望と結果との差の縮小
 - 生徒の急減期に対応した特色ある学校づくり
 - 施設・設備の整備改善
- 現在学校では職員会議・教科会議等で、児玉高校のおかれている現状分析を中心として検討中であります。

本校は地域社会の要請にもとづいて創設されて七十周年を迎えようとしてあります。二十世紀最後の節目であります。長い歳月の中で築いてきた良き校風と伝統の上に立つて二十一世紀に向けて新たな飛躍発展をはかりたいものです。幸に本校には熱心な教職員が揃つています。これ等の教職員と手を携え、地域社会の要望にこたえるべ

く、児玉高校ルネッサンスが実現できるような努力しますので同窓生の皆さんにも絶大なご支援をお願いしたいと思います。



第 69 回全国高等学校野球選手権埼玉大会

「部活紹介」

野 球 部

昭和23年、桜井春彦先輩を中心に部員9名でスタートを切った野球部も今年で創部40年を迎えることができました。この間、昭和47年度の夏の大会、全国選手権大会、埼玉予選にベスト8、昭和49年度、

秋季大会（選抜甲子園大会の参考大会）でベスト4、（あと一勝で関東大会、選抜甲子園大会の選考対象となったのですが……）。昭和51年度の夏の予選、対熊谷商高を相手に延長18回引き分け再試合という、埼玉県高校野球史上めづらしい記録も作りました。この他、多々あるのですがこのあたりで現状について御紹介いたします。部の構成として部長、監督以下、主務1名、主将を含め選手32名で活動しております。練習では、実戦練習中心にとり部の方針で、練習試合を多く取り入れ、昨年は、年間90ゲームを消化いたしました。また、「学校生活も大切に」という部の基本目標もあり、「生活」「学業」も練習の一貫として努力をしております。今後とも多くの先輩達が残された実績を糧に、ベスト8、ベスト4はすでに経験しているんだ！残り「甲子園しかない！！」を合言葉に、部員一丸となつてさらに前進して行く覚悟です。また、「甲子園出場」もという事が我々に残された責任でもあると思えます。この「責任」を成しとげるためにも、同窓の皆様御指導、御鞭撻をぜひとも仰がなければならぬ事も数多いと思つます。

今後とも、温かい御声援をよろしくお願いいたします。

＊～＊～＊

恩師おたより

岡 悌二先生

拜復、「時の針」をお送り下さりまして有難うございました。児玉高校同窓会の御様子や、同校の様子ばかりでございまして、大層うれしくございます。私が同校の校長をしておりましたのは、戦時並に戦後数年間でございます。戦時中は生徒と一緒に軍服縫いをしておりました。生徒は当時がなつかしいらしく昨年は筑紫嘉子さんが越谷市から、ハガキを下さいました。児玉町は私の第二の故郷です。

草々

児玉の人情

長井五郎先生

昭和二十五年春、着任したばかりの私が児玉高校サッカー部の顧問に就任したのは、「サッカー部には猛者が多い。それを抑えるには陸士出の長井がよい」ということであつたらしい。私はサッカーのルールをほとんど知らない。それでもサッカー部の顧問になった。すすめる方もなる方も、乱暴な話であつた。

確かにサッカー部には人材がいた。今は東京に居る山田君や同窓会長の梅沢君などがそれである。そして夏の合宿には最も規律が正しかった、と林校長にほめられた。故あつて五ヶ月で転任した私にお別れ会をしてくれたサッカー部は、その三十年後に私が県教育長を拝命した時、イの一番にそのお祝いをしてくれましたのであつた。

平成元年度

教職員人事異動

(敬称略)

- (転出・退職)
 - 校長 岩田 明 県立博物館
 - 教諭 神田周宝 深谷高校
 - 武井秀雄 秩父東高校
 - 垣堺夏江 熊谷商業高校
 - 中島忠之 熊谷農業高校
 - 非常勤講師 中島清治・久米 実
 - 青木美枝・鹿島要子 退職
 - 事務長 吉田善道 退職
 - 主事(定) 島崎伸次 退職
 - (転入・新任)
 - 校長 杉田治正
 - 教諭 谷岡誠身・栗藤義明
 - 講師 浜野 浩・長谷川秀子
 - 非常勤講師 斉藤貞次・勝俣将明
 - 富塚智子・杉原朋子
 - 事務室長 関根利幸
 - 教諭(定) 高橋 均
 - 主事(〃) 橋本嘉美



新年会

新年会に

出席して

高校22回庭球部
瀬山尚志

先般、期別役員としての通知を頂き、改めて母校のほのかな香り懐かしい事柄に想いを募らせ、去る二月四日に開催された「新年会」に出席させていただきました。大先輩の皆さんに囲まれ、とても楽しいひとときでありました。二次会・三次会とお世話になりました。また、クラブのこと、女生徒の

多かったこと、バス通学やスキー教室などの母校での色々な出来事を改めて思い出しました。ところで、私達が通学していた頃とは違い、本庄方面からの自転車通学の皆さんがたくさん増えているようですが、在校生の諸君が交通ルールを遵守し事故に合わないよう、楽しいクラブ活動、勉学ができる学校となりますよう期待しています。

さて、今年に入ってから、母校を訪問する機会があり、校長先生に校内を御案内頂きましたが、辛辣(しんらつ)なことを申し上げ恐縮ですが、クラブの部室棟、校内を流れる堀の金網、庭球コートなどの老朽化、雑草に少しばかり心が痛む思いがし、卒業生として何か援助なり協力をしなければならぬなと感じました。終わりに、本会発展のために、本部役員各理事の皆様の御尽力を更に傾けて頂き、益々発展する事をお祈り申し上げます。

三年後に迫ってまいります創立七十周年の記念行事には、間にあるわかないとは思いますが、記念館(同窓会館)の建設にあたっては、ぜひ児玉高校の象徴でもあった高等女学校時代の講堂(私の在学中は図書館)の外観を活かした記念館の建築をして頂きたいと思えます。



会員おたより

会員特集として第1回は高等女学校卒業生の皆様にご寄稿をお願いしましたところ、早速に原稿をお送り下さり、深く感謝申し上げます。ご披露いたします。

私と児玉女学校

組合立第4回卒業

平田キクノ(旧姓飯嶋)

秩父の出牛から児玉までは砂利道三里。庭球トレの後、人影一つない曲りの多い夕闇の川端道を、恐怖を背負って黄色い息の立ち乗りで突っ走った自転車通学。娘待つ母は四年間毎夕ビクビク。大雪の朝は三時半起きて徒歩。兄は「こんな日に行く馬鹿があるか」と。足の凍える始業時の教室で「何んだキクノ来ていたのか!お前は勉強せんでいい。居眠りでもしておれ」と先生の妙な慰めの言葉。女の自転車通学草分けころの昔話。足の鍛練で自信の健康も七十六才の去年は胃の切除でもろくもギヤフン。病床に届いた「時の針」で母校をしのび、児玉中勤務のころ児高校舎の増築陳情で先生方と県庁に出かけたことは思い出一しおぼたけ!児玉高校同窓会万才。



運動会・同窓会バザー(昭和12年)

私の近況

県立第1回卒業

大川マサ子(旧姓関口)

県立第一回卒業の私は七十四才になります。遠い女学生時代の思い出は沢山あって今でも同級生の方達に会うのが一番楽しみです。私は東京で結婚生活六年で戦災に合い主人の故郷の伊豆へ移り住みました。あれから四十三年になりました。食糧難の時代で農地解放で残った少しばかりの百姓でした。慣れない上に農機具もなく大変でした。生活上又、慣れない雑貨食料品の店もやり、当時高校二人中学一人小学一人の四人をかかえ悪

戦苦闘の毎日でした。例の狩野川台風で家も店も田も流されました。三十年経った今何とか無事に過ごしています。五年前、主人を失ない現在湯ヶ島町役場に勤務の長男夫婦と孫三人と同居しています。ボケ防止のためいろいろな趣味に取り組んでいる現在です。遠方より児玉高校の発展を祈ります。

私と児玉高女

県立第7回卒業

笠原 ひろ(旧姓富田)

同窓会報「時の針」御送付戴き有難う御座居ました。私が児玉高女に入学したのは昭和八年でした。その年の十二月児玉駅を降りると皇太子殿下御誕生の号外があらちの電柱に貼ってあり、寒い朝でした。歳月の経つのは早いものです。その皇太子殿下が五十五才の誕生も過ぎて大行天皇崩御され、新しく天皇陛下となり、昭和も終り新元号平成となり、大正は遠くになった様な気が致します。然し乍らあの雉ヶ丘城跡に建てられた児玉高女、周囲には小高い丘あり又沼もあり林あり、その中に建てられた二階建の木造校舎は周囲に調和のとれた上品な校舎で今でも忘れられません。

二月六日

薬のことなら

萩原薬局

埼玉県児玉郡上里町大字神保原町
TEL(本庄)0495-33-3017

萩原 鳩子 女 19回 昭24卒
(旧姓清水)

埼玉県児玉郡児玉町大字児玉61

有限会社 坂本書店

電話 0495-72-1257(代)
FAX 0495-72-1210
郵便番号 367-02

坂本和子女14回 昭19年卒
坂本尚子高32回 昭55年卒

私の近況と母校に望む

前略
県立第7回卒業
徳江ふみ子(旧姓吉川)

なつかしい便りに接し、とてもうれしく思います。私は県立七回卒(県立児玉高女)の一員です。もはや卒業して五〇年をすぎました。妹も、姪達三人も皆同窓生です。母校に対する気持は一そうです。

随分学校の様子も変られたでしょうね、私は自転車通学でしたので丹荘から保木野を通って通いました。八高線のフミ切りを横切っています。走馬燈のように思い出されます。一瞬おさげ髪の当時に戻れますね。

現在68才となりました。子供達もそれぞれに生活をしておりますので主人と共に元気にたのしく、充実した老後を送っております。母校の、そして同窓会の一層の発展と内容充実を期待いたします。

私の近況

県立第8回卒業

矢島みち(旧姓町田)

時の針第四号を読ませていただきました。県立八回卒の私にとつて母校は想い出も薄らいでおりましたが会報の中の体操風景(昭和

七年)校庭の東の小高い丘の写真に懐きさが込み上げて参りました。今は亡き恩師の面影やセーラー服姿の友の顔など。母校の近くに住み乍ら子ら三人の入学式や卒業式に行つた位です。戦争の渦の中で卒業後も長い間クラス会も実現出来なかつた私達ですが近年は毎年親睦会に出席しております。昨秋突然本会より期別の役員に任命を受け驚いております。老境に入り一日一日を大切に過ごしております。

役員としてお役に立てるか自信ありませんがよろしく御指導の程をお願い申し上げます。会の発展をお祈り申し上げます。

私の近況

県立第9回卒業

中林豊子

学校を去ってから早や五年、時の立つのははやいものです。旅行をしたたり、墨絵を習つたり孫の様子を見にいたり、現在では全く自己中心の世界となりました。時折り、このような生活でいいのかしら、と思ひ迷ふことが多いあり、体力的には、むずかしい年令となつてきました。上手に年をとることはむずかしいですね。

また、教え子が訪ねてくれたり、ニュースを聞かせてくれたり、なお、今は社会で活躍している話を聞くごとに、非常に頼もしく我が

事のように嬉しく思います。今後の課題として、軽いスポーツに挑戦したく、身心を鍛えて、老後を楽しくすごしていきたいと願っています。

私の近況

県立第9回卒業

森澄子(旧姓福島)

多忙な教職生活から開放され、児玉高校の四月の総会、秋の親睦旅行には毎年のように参加させて戴いております。帝国劇場での観劇、浜田屋での総会、久しぶりに懐かしい友達とお逢い出来る楽しさ、会長の梅沢さんはじめ役員の方々に感謝致しております。

下久保ダム工事、今のダムの底を通して山の学校(矢納小)へ、リックを背負って通っていた頃、近所の子供から毎日遠足かいと言われたあの当時、山村の子供は純真で忘れられない。教え子からの級会への誘い、退職互助会からの旅行への誘いなどに参加している。三人の子供も埼玉、大里、児玉の小・中学校へ勤務し、六人の孫に恵まれ、習字やピアノを教え、忙しい生活に負われています。

私と児玉女学校

県立第12回卒業

宮下君子(旧姓岩田)

六十二年十一月同窓会伊豆方面へ

の旅行の際バスの中で参加者の名簿が配られました。校長先生が岩田明先生アレ?上里町の御出身だと云う話、私の実家の四百年前の分家である事がわかりました。今は家は一寸離れておりますが田畑は隣り合っております。本当に驚きました。夜の宴会では話に花が咲き懐しさを一杯でした。私達が通学していた昭和十四・五年の頃は上里町から児玉まで十km自転車での通学でした。風の強い日は自転車止まってしまひ、バラスの道を押して歩き一時間もかけての通学「この自転車がこがなくても動くようなものが発明されないかなあ」と話し合ったものです。岩田校長先生諸先生方我等が母校の為、ますますの御活躍を御祈念致します。

私と児玉高等女学校

県立第12回卒業

鈴木秀子

入学したのは十三年四月。全校生徒僅か四百人。今から半世紀前に私の脳裏に焼き付けた白黒のネガを今懐しく現像してみた。戦時色は増々濃くなり十六年十二月八日(月)大本営発表の宣戦布告の報をモンベ姿に身を固め児玉駅東の畑で鎌を振っていた時、駅のラジオで聞いた。「欲しがりませぬ勝つまでは」を合言葉の日々であった。そんな中にも女性としての作法を

身につけ、学業共にすばらしい学校だった。昭和の激動に育ち、著らず儉しくを常として昭和が終わった。時人も学舎も変わりそして今日ではGNP世界最高とか輪後派の飽食時代平成の世となった。人は中性化し真の男女らしさを失うを見て心平静を欠く私。児玉高校は私の母校。永遠に栄え輝くことを願って止まない。

私と児玉女学校

県立第13回卒業

長崎 和子(旧姓山口)

二年の秋、私は転校してきた。当時は結髪が校則であったため、短いオカッパ頭は注目的になり、中傷されるのがたまたまなく、校則に抵抗感を抱いた記憶がある。運動好きだった私はテニスで大活躍。日本選手権保持の平塚先生に鍛えられたのはラッキーであった。心身共に今以て多少のことではへこたれないという自信につながり、頗る健康である。また、日新校長先生に教えて頂いた般若心経や、五観の偈の意味も漸く理解できる年頃となった。(当時は夢中で暗記していた)戦時中でもあり、つらいことが多かったように思うが、今ではそれらが、忍耐強い人間を形成することであったと、懐古の情と、感謝の念でいっぱいである。

私と児玉女学校

県立第14回卒業

滝沢 光恵(旧姓石原)

立派な会報四号を有難くそして懐かしく感謝しつつ拝読させて頂きました。日新校長先生で寒稽古に朝早く講堂で座禅をし般若心経を唱え精神修養が出来ました事を誇りに思います。金屋村の塙保己一先生の墓参り、四月入学期、金鑽神社へ祈願、五月二十七日海軍記念日全校生徒で四kmマラソン競走皆懐かしく走馬燈の絵の如く浮かんで参ります。長滞でクラス会の時皆喜んで般若心経を唱え思い出にふけりました。私は日新先生



農作業風景(昭和13年頃)

の娘さん(和子さん)と同級生でした。四十余年ぶりにお目にかゝり、日新先生が他界なされた事を耳にし心より御冥福をお祈り申し上げます。又、歴史名高い城ふる所、雄ヶ丘母校の増々の御発展を祈念して止みません。

児玉女学校と私

県立第14回卒業

青木 俊子(旧姓四方田)

入学から卒業までの四年間、日新校長先生のご指導で始業前の三十分間、静座と般若心経誦誦が隔日行われました。今、その事の意味を私なりに考えています。

般若心経は、釈尊五十歳を超えたころの思想を、唐の玄奘三蔵法師が二百七十六文字に訳したものだそうです。大化の改新前後の事と聞いています。

若き日に出会った般若心経は、半世紀近い歳月の後に『仏典入門・仏典の源流』というNHK学園の講座を選ばせてくれました。亡き日新先生はじめ諸先生方が、人格を完成するためにはどうしたらよいか、という課題を、静座や読経を通じて私達に負わせてくれた遠き日々が、私の道しるべとなってくれたように思います。



勝 司 寿

原 田 芳 朗
高12回 昭35年卒

埼玉県大里郡寄居町大字寄居 1227 の4
TEL 0485-81-0940

高級呉服・宝石・毛皮

山市屋本店

児玉中央通り商店街 ☎0495-72-1005

卜部 靖夫 高12回 昭35年卒
卜部 義子 高13回 昭36年卒

私と児玉女学校

県立第15回卒業

入 和子(旧姓松井)

私は名古屋から二年生の時転校して来ました。当時は山深く些々淋しさもありましたが、山の木々や緑に囲まれた貴品高い校舎をみやりホッとしました。三年生頃から戦争が激しくなり学校は軍需工場となりその傍ら授業を受ける毎日でした。上級学校受験には新聞を読んでいればいゝといわれた時代です。けれど私達五人皆不合格でした。三月三十一日卒業証書をもらい翌日から専攻科として雨カッパを縫う為学校へ行きました。八月十五日終戦となりバスは運休、本庄から汗をかき乍ら歩いていきました。校門はとざされ仕方なく私達は歩いて家に帰ったのです。そういう呆気ない学校との思い出があります。でも学校を通しての四十年余の友がいる事は何よりの幸せと感ずる今日此の頃です。

私と児玉女学校

県立第18回卒業

小沢 元江(旧姓根岸)

終戦後三年目の卒業でした。校庭での陛下のお声が今でも耳に残っています。あの夏からの三年間は正に学生といえる青春の満足感に浸る生活でした。一枚に印刷さ

れた粗末な本、それでも縫製作業から解放された喜びはこの本を重厚なものに感じさせ新しい時代へ一步踏み出したのでした。般若心経に早起きして座った作法室の畳や生野菜を山程召し上がった校長先生とのお弁当の時、今思うと時代を先取りしたかの様な思いきりお顔が目につかびます。思いきりラケットを振った校庭が今も若人を育んでいるが嬉しいことです。四十年を経た今、苦しかった修業も懐かしくクラス会での思い出話に一段と色を添えて忘れられませ

▲テレカ報告▼

児玉高校ルネッサンスシリーズとして、同窓会オリジナルテレホンカードの発行は、皆様のご協力をいただき、すべて完了することができました。当初、予想もなかった純益をも計上され、重ねて感謝申し上げます。

純益の使途につきましては総会で承認いただきました。「記念品を母校へ寄贈」するため高校第10回卒業生、大木英穂氏に絵画創作をお願いしましたところ、快く引き受けて下さり、母校図書館へ掲げるべく準備を進めております。



棒たおし風景

組合立第4回卒業 諸とみ子さん(旧姓木村)からは、昭和3年児玉高等女学校在学中に行なわれた、天皇陛下御親閲式参加の感想文をいただきました。

御親閲を

辱うして

埼玉県児玉高等女学校

第四学年 木村とみ子

記念すべき此の日、映えありし此の日、
噫々、何んという敵そかな日であつたでしょう、感激の日、喜びの日、それは私達の一生涯を通じ

て忘れる事の出来ない強い印象を残した日でありました。

昭和三年十二月十五日、此の日、帝都を統ぐる一府四県の若人を中心として、私達中等学校以上の学生生徒の代表に、御親閲を賜うた限りない光栄の佳き日でございます。

毎日繰るカレンダー、指折り数えて待ちに待った此の日、本校より選ばれて此の光栄に浴する事の出来た数名の者の喜びはどんなであつたでしょう。噫々、此の包む事の出来ない喜び、此の喜びの私達を運ぶ臨時列車は立錐の余地ない程大混雑でしたのに、また、何んという慎ましい雰囲気だった事でしょう。お互いの顔には唯喜ばしさがあるのみでございました。東京市街の店頭に飾られた奉祝の日の丸、数知れない自動車、電車、目に映ずる凡てが喜びの中に輝いていました。

午前十一時、宮城前広場の指定の場所について、陛下の御出を御待ち申し上げることにになりました。早朝より頻りに降る冬雨に、二重橋前の式場一帯は塵一つだにとどめない清浄さ、松の翠を滴り落ちる雫の一際美しさ、あちら、こちらに蹄の音も高い将校の勇姿、さながら一幅の画を見るような雅麗さに、益々壮厳な感に打たれたのでございます。

処狭いまでに広場に林立している団旗、校旗の閃めきは、今日の

光栄に、何んと生き生きしていた事でしょう。

颯て、近衛将校の乗馬の姿が見えました。「午前十一時を過ぎる頃、御差遣の侍従が式場を具さに視察し、八万の学徒冷雨に打たれつゝ、意気旺んな由を奏上し併せて玉座には天幕を張りたる旨申し上げると、畏くも陛下におかせられたは

『八万の学徒雨に打たれおるに何んぞ殊更に天幕の要あらんや、直ちに撤去せよ』

と仰せ給うたので、只今取り除いたのでございます」と、告げる将校の語調は、言い知れぬ感激にふるえて、その眼には、涙さえ光っておりました。

おお、私は私は、如何にすれば此の感激を表わされるでございましょう、その術を知りません、私は私の心身にある凡ての涙を、いやいや私の一生涯の涙を全部流したとて表わす事は出来ないであります。

涙に潤む眼で遙かに彼方を拝せば、天幕を取り除かれた玉座には、ひたひたと寒風が、白布を吹きまわっております。

何時の間にか静まりかえった一同の上にはあわや、おさえきれない感激が破れんとしておりました。午後二時、待ちに待った其の時は参りました。「氣を付け」、の号令に、一同はきつと襟を正し緊張し、しわぶき一つ聞こえませ

でした。

颯て、君が代が静かに奏しはじめられました。瀏亮たる軍楽の響の調べ!!、噫々何んという壮厳さであつたでしょう。

陛下には、君が代奏楽裡に出御あらせられ、除寒防雨の御設備の無い玉座に、而も、御外套も召させられ給わず立御あらせられたのでございます。

その凛しい御英姿を拝するだに、またまた新しい感激が漲り溢れるのでございました。

颯て、各分列部隊の行進が開始されました。

隊伍正々堂々一糸みだれず、順次行進する足並み、踏みしめる大地の響き、燃える意気!!これこそ新興日本の表徴だとばかりに。

各部隊の先頭に捧げられた団旗校旗の喜びのためき、光栄の閃きも見ごとさ、

畏くも陛下におかせられては、直立不動の御姿勢のまゝ微動だになされず、各分列部隊の御前を行進する度毎に、一々御会釈を賜わりました。何んと有難い極みでございましょう。

折しも、淡紅紫色の瑞雲が、大内山の上空高く棚引き陽光まぶしく照り映えたのでございます。

颯て、号達女子団は、「前へ進め」、の号令に、陛下の御前数十歩の所へ進みました。

龍顔を拝すれば、ああ麗わしの天顔、何んとも言ひ知れぬ有難さを覚えました。崇高な感と申し上げれば宜しいのでしようか、神厳な感と申し上げればよろしいのでしようか、ただただ勿体なさに頭が下がるのみでございました。

軍楽の合図に私達女子団は声うち震わせて「三種の神器承継ぎて、天つ日嗣の御位に、わが大君の即き給う、祝え今日の御大典、祝え祝えいざ祝え……」の奉祝歌を奉唱しました。勇壮な分列行進の後とて殊更優美な情調で場内を包んでしまいました。

東京府知事、一段高い壇上に立って、「天皇陛下万歳」、を奉唱すれば、広場に満ち充ちた八万の若人、これに相和して、熱誠の叫びを三唱、一声は、また一声よりも更に力強く叫び上げられました。

噫々私にとって今日の如く真に迫れる心からの叫びをあげたことがあつたでしようか。

陛下には、諸員最敬礼、軍楽隊朗らかに君が代を奏し奉る中を、御機嫌いとも麗わしく還御遊ばされたのでございます。

噫々其の瞬間はじめて我にかえり、陛下の下々を御愛撫し給う有難い大御心に、またまた新しい感激の涙が溢れ落ちるのでございまして。

噫々、平和と愛と、喜びに輝く昭和の御代、想えば、私達日本に

厄除・交通安全の祈願寺

かな さな だい し
金鑽大師(大光普照寺)

児玉霊場第 33 番札所

神川町二ノ宮 667-1
☎ 77-2382

税務経営相談

柴崎新税理士事務所

柴崎 督子 高5回卒
(旧姓茂木)

本庄市栄 2-3-5
TEL 0495-21-2809

講演会報告

同窓会講演会は、回を重ねるごとに定着、充実してきました。これも母校の先生方のご支援があるからこそと感謝しています。

本年は、第三回目に当り去る十一月十一日(金)午後一時より講師に本校第十一回卒業生の曾根伸穂氏に、演題は「在校生へ」(失敗を恐れずに)と題して開催いたしました。当日は、講師の同級生も多数出席し、会場の体育館に整列した在校生に過ぎず大学生時代に体験したこと、現職の(株)アイテック計画代表取締役として活躍中の豊富で貴重な経験や体験を活かして、次のように語りかけられました。先づ、人の行為で許される失敗と許されない失敗がある。その中で確たる目的を持っての失敗は許される。自分は、他人とは同じではなく違った長所があると思ふ努力すること、これが魅力ある地域の活性化に連るのである。努力すれば自分は延びる(成功する)。充実した日常生活を送るために常に新しい物事に感動をもって生きることに。多くの友人を持ちその関係を大切に、助け合いの心をもつ、これが良い意味の競争心に連ることになる。また、世界に目を向けていこう。これは外国の国

柄、人間、言葉、歴史を理解することが日本人を理解してもらうことになる。やがて、児玉郡市は農業中心から工業中心へと発展しつつ国際化社会へと仲間入りすることでしょう。これらの内容が在校生にとつて、今後の進路に大きな指針になったものと思います。

武田記



講演会

クラス会

便り

◎高女第8回卒業生、元年5月1日、2日 於日光市日光田母沢ホテル 20名出席



- ◎家庭科第2回卒業生、元年5月3日、4日 於長野志賀高原一乃瀬 20名出席 原ヤス江先生も参加されました。
- ◎組合女第1回卒業生、63年5月 於児玉町大連 14名出席
- ◎組合女第4回卒業生、元年5月30日 於児玉町ふじや(喜寿を記念して) 15名出席
- ◎高校第4回卒業生、元年8月5日 於東京青山ダイヤモンドホール 64名出席 永田博仁先生 小林泰雄先生、高山 晃先生も参加されました。
- ◎昭和39年度1年3組(中里 耿先生担任)、元年8月13日 於本庄市埼玉ランドホテル 15名出席
- ◎昭和39年度1年1組(原ヤス江先生・岡部 上先生担任) 元年8月13日 於児玉町吉日吉 22名出席
- ◎昭和39年度1年7組(粟生田芳造先生担任)、元年8月19日 於寄居町みゆき寿し 17名出席
- ◎高校第11回卒業生、元年9月2日、3日 於群馬磯部温泉磯部かんぽ保養センター 91名出席
- 岩田 敏先生、落合明弘先生、高山 晃先生、中林清次先生も参加されました。

各種記念写真・証明写真

高橋写真館

高橋 秀一 高8回 昭31年卒

〒367-02 児玉町新町127

セブンイレブン並び

TEL 0495(72)0364

あなたのスポーツライフを応援します。



本庄市北堀字笠ヶ谷戸1024-1

電話 0495-21-7331 (南大通り)

新井好江 昭34年卒 新井 幸 昭61年卒

新井宏美 昭59年卒 小林 裕 昭44年卒



総会(都内遊覧)

催しもの お知らせ

◎ 親睦旅行

とき 平成元年10月22日(日)
 23日(月)
 集合・出発場所
 1号車 兄玉高校 6時45分
 本庄駅南口7時5分
 大宮駅東口埼玉銀行前
 7時15分
 東京駅丸の内南口はと
 バスのりば8時45分
 2号車

◎ 講演会

合流場所 中央自動車道(談合坂
 S・A) 11時30分
 ところ 霧ヶ峰高原 白樺湖
 池の平ホテル ①026
 6(68)2212
 見学場所 高原美術館・諏訪大社
 かいひ 25,000円(宿泊・昼
 食・バス・見学料等)
 のりもの 観光バス 2台
 ※ 申込み切 元年10月9日

◎ 新年会

とき 平成元年11月9日(木)
 午後1時より3時まで
 ところ 母校・体育館
 講師 萩原昌伯氏 高校第40回
 卒業生、駿河台大学法学
 部法律学科在学中
 ※ 申込み切 元年10月27日

◎ 総会 (平成2年度)

とき 平成2年4月22日(日)
 集合・出発場所
 1. 兄玉高校 8時
 2. 本庄駅南口 8時20分
 3. 帝国劇場前11時
 ところ 東京千代田区・帝国劇場
 地下1階(帝劇浜田屋)
 ①03(216)24
 58
 かいひ 5,000円(バス・昼食
 ・懇親会費)
 コース
 1. 帝国劇場公演観劇
 「マイフェアレディー」
 大地真央・細川俊之主演
 入場料S席11,000円
 都内バス遊覧、隅田川橋
 めぐり水上バスの旅、浜
 離宮・浅草寺等見学予定
 乗船及見学料1,000円
 ※ 申込み切 2年3月15日
 なお、観劇のメ切は予約
 (良い席確保)のため、
 元年10月20日

◎ 催しもの お知らせ

とき 平成2年1月27日(土)
 午後3時より
 ところ 本庄市・埼玉ランドホ
 テル ①0495(21)
 2111
 かいひ 4,000円
 ※ 申込み切 2年1月17日

(催しもの申込先)
 石井(事務局)兄玉高校内
 ①0495(72)1591
 (おわび)

総会は毎年4月の第3日曜日に
 開催することになっており、先に
 役員の方へ2年4月15日(日)の
 予定とご案内しましたが、都合に

より、2年4月22日(日)に変更
 させていただきますので、おわび
 申し上げます、訂正いたします。

「」連絡を」

現住所の異動や国土調査による
 地番の変更、結婚等改姓の場合、
 同窓会事務局(兄玉高校内)まで
 ご連絡下さるようお願いいたします。

編集後記

「時の針」第5号をお送りする
 ことになりました。皆様のご協力
 にひたすら感謝・感謝・感謝。
 親睦旅行が10月22日・23日のた
 め、少しでも早くお届けできるよ
 う、慣れない作業が続きました。
 卒業生をむすぶ「絆」として、
 ふるさと・母校・恩師・友……
 ゆっくりと温めてほしいものです。
 会の名称募集にご協力を、
 兄玉高校にふさわしく、明るくて、
 呼び易いものをお願いいたします。
 「時の針」を全会員に送る方法
 を研究中ですが、最大の難関は、
 経費をどう工面できるかです。
 同期会・クラス会等開催の場合
 は事務局までご連絡を、ささやか
 ですが助成金を差し上げます。